

【目次】

- 【1】2024 年支部総会・講演会の報告
- 【2】関西支部直近の取組みご案内
- 【3】第 61 回全国大会案内
- 【4】各研究会(全国・支部)の活動
- 【5】メンバー出版物紹介
- 【6】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
- 【7】その他お知らせ・ご連絡



♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

昨日は阪神淡路大震災から 30 年、TV では各局長時間、その報道をしています。

私はその日、朝一から広島出張の予定で、地震の瞬間は半起きの状態でしたが、突然の揺れに安普請のアパートは大きくグラグラと揺れ、這いずって細い柱にしがみつくなのがやっとでした。自分の拠って立つ足元がこれほど頼りないことが、こんなにも恐ろしいものなのか、改めて心に深く刻まれました。

企業も同じでしょう。今ある状態で何とか成り立っていても、まさにいつ何が起こるかわからない。しっかりした構造をいかに構築するか、改めて考える時だと感じました。

3/7-9 に開催される全国大会の案内が発行されています。テーマは「サーキュラーエコノミーと生産管理」です。開催校は愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス、8 日(土)の講演会等は、一般の方も無料でオンライン参加も可能です。サーキュラーエコノミーは、地球環境が悪化している現在、企業の足元を固める重要な手段の一つとも言えます。ぜひ積極的なご参加をお待ちしております。

発行: 日本生産管理学会関西支部

連絡先: 葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

**【1】2024 年支部総会・講演会の報告**

先月 12/7(土)、支部総会・講演会を実施しました。支部総会では、引き続き減少傾向にある会員数に歯止めをかけるべく、更なる学会の価値提供と、なによりそれらの価値を知らしめる様々なプロモーションに力を入れるべきとの声が上がりました。その活動の一環として、関西支部主催の「学生研究発表会」を実施することが決まりました。その後の調整の結果、【2】で紹介する日程にて実施します。生産管理や経営に関心を持つ学生を支援するため、1 人でも多くの皆様に、ご参加いただけますよう、お待ちしております。

また講演会では、関西支部理事・今回武庫川女子大学の宗平先生に、「デジタルツイン、AI 活用など製造業におけるデジタル活用のトレンド」についてお話をいただきました。日本は欧米先進国に対して IT 化が遅れていることは周知のとおりですが、ようやく日本でも先進的な取組みが増えてきており、生成 AI の活用事例や、旭化成における DX 活用のプロジェクト推進方法など、実践的で示唆に富んだ内容が報告されました。宗平先生の講演に関しては、ご希望の方には資料の送付・録画の閲覧のアクセス先をご連絡いたしますので、事務局あてご一報ください。



**【2】関西支部直近の取組みご案内**

関西支部では、生産管理・企業経営に役立つ様々な学びの機会を会員・非会員に関わらず、提供していくことを目指しています。2月に以下の2つの取組みを実施します。ご関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

### **(1) SBS リコーロジスティクスリサイクルセンターの工場見学会**

SBS リコーロジスティクスリサイクルセンターは、リコー製品を中心に大型のコピー機その他家電品を回収し、自社のコピー機についてはセンター内で解体し、使用可能部品・有価材を取り出しています。廃材は一般的に、都道府県単位の認可制ですが、周辺都道府県に許可を取り、広域輸送を可能にし、リコーのネットワークを活用する、全国網を活かしながら、関東と関西の二大拠点の一角を担っています。その結果、

- ・OA 機器やオフィス移転で不要になった什器等の収集運搬と廃棄処理、及び、分別、解体によるリサイクル、リユースを推進
- ・近畿、中国、四国、北陸、中部の一部のエリアのリサイクル・リユース品を回収
- ・お届けから回収、廃棄までをワンストップで対応

できる、といった特徴を持っています。この見学会を下記にて実施しますので、ぜひご参加ください。(同業の方はお断りする場合があります。また参加人数に制限がございますので、早めにご連絡ください)

#### **【記】**

日時:2025年2月6日(木) 13:30-16:00

場所:SBS ホールディングス 関西リサイクルセンター

住所 〒552-0013 大阪府大阪市港区福崎 2-1-49

TEL 06-7664-8741

集合:2025年2月6日(木) 13:00 地下鉄朝潮駅改札

申込方法:葛西宛、メールにて、以下の内容をご連絡ください(ekasai@hi-ho.ne.jp)。

・氏名 ・所属 ・緊急連絡先(TEL no)

申込期限:1/25(土)までにご連絡ください。

関連 HP

[https://www.sbs-group.co.jp/sbshlds/location/sbsrlsc\\_kansai\\_recycle-c/](https://www.sbs-group.co.jp/sbshlds/location/sbsrlsc_kansai_recycle-c/)

[https://www.sbs-ricohlogistics.co.jp/sbsrlsc/logistics/green/idt\\_waste/](https://www.sbs-ricohlogistics.co.jp/sbsrlsc/logistics/green/idt_waste/)

### **(2) 関西支部主催 学生研究発表会**

表記、関西支部では今回初めて、「学生研究発表会」を開催いたします。

発表者・参加者は学会内外問わず、広く募集いたします。

参加は対面・オンライン併用です。

生産管理学会においては、春の大会直前の開催であり、

学会員の学生にとっては大会での発表を控え、練習の場ともなることを想定しています。

また、学会外の卒業年次の学生にとっては、学業の集大成の場にもできると考えています。

発表は、大会と同条件の時間と、短縮での発表ができる場を用意しており、学会発表はハードルが高いと思われる学生も参加しやすい形式にしています。

学生会員の皆様、学生を抱える先生方、若い研究者にエールを送りたい方、ぜひご参加ください。

#### **【記】**

(1)開催日時:2025年2月/25日(火) 9:30~16:00(発表学生の人数により、終了時間を変更)

(2)開催場所:対面とZoomを使用した遠隔参加を併用して実施。

対面開催場所は、近畿大学 E キャンパス E 館(情報学部)

(3)発表対象者:広く経営に関わる研究を行っている学生。学部生・院生問わず。学会内外問わず。

ただし必ず指導教員との連名で発表する。

(4)参加者:学生の研究に関心のある方すべて。学会内外問わず。

(5)参加費:無料

(6)発表形式:①標準発表コーナーと、②ミニ発表コーナーを設定。

①標準発表コーナー…最大20分の発表時間と5分間の質疑応答を実施する

このコーナーでの発表内容を審査し、優秀者には奨励賞を授与  
予稿の提出が必須。(形式・枚数問わず)

- ②ミニ発表コーナー…最大 13 分の発表時間。発表時の質疑応答時間はなし。  
必要内容※が申請されていれば、発表用資料がなくても、口  
頭のみでの発表も可とする。

(※予稿提出時に(1)研究の背景と目的、(2)研究の方法、(3)研究の結果、  
(4)考察、(5)今後の課題、についての記述を提出すること)

(8)スケジュール\* 受付開始 : 1月14日(火)

\* 発表者での参加申込期日: 2月8日(土)

\* 予稿の提出期日: 2月15日(土)

\* 視聴者での参加申込期日: 2月15日(土)

(9)申込方法:発表者・一般参加者とも、下記よりお申し込みください。

<https://forms.gle/P3KRmMCrdx67SmdD6>

(10)問合せ:ご質問等は、メールにて関西支部事務局(ekasai@hi-ho.ne.jp)にお送りください。

### **【3】日本生産管理学会第 61 回全国大会のご案内**

来たる 2025 年 3 月 7 日(金)～3 月 9 日(日)、愛知工業大学にて第 61 回全国大会が開催されます。

統一論題は「サーキュラーエコノミーと生産管理」です。環境政策は規制が中心ですが、今後は経済  
成長と資源消費(環境負荷)低減の両立を目指していく必要があります。

今大会では、生産管理が果たす役割とは何かを検討し、持続可能な社会実現に向けた議論ができる場  
になれば幸いです。万障お繰り合わせいただき、ぜひご参加ください。

■ **開催方式** 対面(一部オンラインのみの発表セッション設定)

■ **大会会場** 愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス

#### ■ **大会スケジュール**

3月7日(金) 編集委員会・理事会

3月8日(土) 11:00-12:00 社員総会

13:00-14:10 基調講演 1

「ESPR など欧州の進めるバリューチェーン製品規制と DPP のインパクト」

講師: 市川芳明氏 (一社)サステナブルビジネス研究所代表理事

多摩大学ルール形成戦略研究所客員教授

14:20-15:30 基調講演 2

「サーキュラーエコノミーのためのリソーシングの重要性と技術開発事例」

講師: 所千晴氏 早稲田大学創造理工学部長 創造理工学研究科長

東京大学大学院工学系研究科 教授

15:40-16:30 特別講演

「MFCA 手法に基づく製造工程における CO2 排出量のみえる化」～企業のイメ  
ージ戦略・真の協力工場になるために今できること～

講師: 榊原 勝氏 榊原工業株式会社 代表取締役

17:00-18:15 情報交換会

※基調講演・特別講演は対面・オンライン併用。学会員・非会員問わず、どなたでも無料で参加可能。

3月10日(日) 9:30-12:00, 13:00-16:15 研究発表/研究会報告/ 閉会挨拶

#### ■ **申込スケジュール**

研究発表申込受付(Web) 2024年1月6日(月)～2024年1月23日(木)締切

予稿論文原稿受付(Web) 2024年1月6日(月)～2024年1月29日(水)締切

大会参加申込(Web) 2024年1月6日(月)～2024年2月12日(水)締切

参加費等支払い 2024年1月6日(月)～2024年2月19日(水)支払期限

申込サイト <https://jspm.smartcore.jp/>

会員 ID でログイン後「全国大会(フォーラムイベント)」を選択(非会員は新規登録)

問い合わせ先:

大会実行委員会(大会プログラム, 会場運営関係) 愛知工業大学経営学部 石井成美研究室

E-mail: s-ishii@aitech.ac.jp

大会事務局 (参加・研究発表申し込み関係) 日本生産管理学会事務局 E-mail: info@e-jspm.com

#### **【4】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動**

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

<1>生産性向上研究会

##### 1. 活動状況

(1) 月1回、大阪学院大学葛西研究室(対面)と各地(山口、金沢等)からのWeb参加とのハイブリッド方式で実施しています。

(2) メンバー

毎回ほぼ8名が出席し、会合を行っています。

企業コンサルをめざされる方等も含め、今後も積極的に新規メンバーの加入を進めていく予定です。

(3) 2024 年度テーマ【既報】

現在多くの企業で直面している「離職者をいかに減らすか」、「作業者のモチベーションの向上をどのようにはかっていくか」をテーマに社会環境、ビジネス環境、働く人(特に若年者層)の意識の変革、企業内の取組み上の問題等をえぐり出していきます。研究成果は日刊工業新聞社「工場管理」2025年4月号の特集記事として掲載することとしています。

(4) その他

●メンバーとの懇親会12月21日の定例会後、葛西研究室から参加したメンバーで懇親会を行いました。毎回Web参加の人も駆けつけ、時間制限のある定例会ではなかなか話題にできない内容も飛び交い、たいへん楽しい懇親会となりました。

●研究会メンバーの出版記念パーティー

12月14日(土)、当研究会メンバーの大前駿二さんの出版記念パーティ(海外事情の裏表: 国際ビジネスパーソンの現場レポート)が西明石のホテルで行われ、45名もの出席者の中、当研究会からも6名のメンバーがお祝いに駆けつけました。

(5) 今後の研究会日程

2025年2月15日(土) 14:00~

・連絡先: 生産性向上研究会主査 林 芳樹

(kyo884@khaki.plala.or.jp)

<2>SDGs のビジネス戦略研究会

当研究会は、3月で終了するため、次回が最終会合となります。

・次回予定: 2025年3月1日(土)14:00~

場所: irie システム会議室

・連絡先: 入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<3>新資本主義研究会 (SDGs のビジネス戦略研究会と同時開催)→当研究会は継続して行います。

・次回予定: 同上

・連絡先: 入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<4>関西生産管理資格制度研究会

・次回予定: 1月19日(日)9:30~11:00

場所: Web 開催



・連絡先:佐藤俊一( [toshi-aoba@mub.biglobe.ne.jp](mailto:toshi-aoba@mub.biglobe.ne.jp) )

<5> ブロックチェーン研究会

・次回予定: 検討中

・連絡先: 森山真光( [moriyama@info.kindai.ac.jp](mailto:moriyama@info.kindai.ac.jp) )

<6> 繊維産業研究会

(1) 開催ペース: 2か月に1度、参加者から毎回1名以上の研究の状況と課題を報告し、お互いの知見を活かして繊維産業の今後を考えていきます。

(2) 次回予定: 2/15(土), 20:00~ 場所: Web 開催

広島市立大学 李 在鎬先生より、欧州でのアパレル環境関連報告をして頂きます。

(3) 連絡先: 葛西恵里子( [ekasai@hi-ho.ne.jp](mailto:ekasai@hi-ho.ne.jp) )

## 【5】メンバー出版物紹介

### 6冊目の書籍「海外事情のウラオモテ(海外ビジネスパーソンの現場レポート)」 の出版理由とコンテンツの紹介

MO プランニング (作成: 大前 駿二)

#### ●出版理由

過去、現場作りや人材育成をテーマに5冊の書籍を発行してきた。一方、日本では人材育成やマネジメントのグローバル化が叫ばれて続けてきたが、果たして現在の日本企業や国際人達は相対する国々の正体を調べ尽くしてビジネスに取り組んでいるのだろうか？微力ではあるが今回の執筆に際し、筆者のアラブ・カタールでの鉄鋼会社のマネジメント経験や船舶・制御装置のグローバルなサービスネットワーク構築時に駆け巡った30ヶ国・100都市の訪問記録を再整理しオープンにした。又、筆者のみでは手薄な国々もあり、8名の識者にサポートをお願いし、その駐在経験や出張体験を肌感覚で語ってもらった。各執筆者のオリジナルな経験談がストレートに読者の皆様に響くものと期待している。

#### ●コンテンツの紹介

先ずは、目次を紹介しておきたい。

#### 第1章 東南アジア編

1. ベトナムに感じる成長のポテンシャル
2. ミャンマーとタイのこれからをどう見ていくか？
3. 変幻自在な政治と堅実な経済のフィリピン
4. 何か分からない国“インドネシアを探ってみる”
5. 存在感を増すシンガポールを内側から観測する

#### 第2章 アジアの大国編

1. 世界で存在感を増す中国を香港から眺める
2. 中国の経済都市“上海”は国際都市として繁栄していくのか？
3. 大国を目指すインドを探訪する【Part I】
4. 大国を目指すインドを探訪する【Part II】

以上ですが、例えば、“他人依存症のタイ”に今後の経済成長は望めないのではないか？、

民主的な独裁国家運営と人口バイアスを武器に成長するインドネシアの不思議な側面探訪、なんとなく自由奔放に見えるフィリピン経済の堅実さにアプローチしてみる等の視点は如何でしょうか？

得体のしれないインドへの切込みはハードでしたが、駐在をしていた義理の息子や次女の協力を得て何とか

#### 第3章 欧州編

1. 観光立国に見えるオランダをビジネスの側面から観察
2. 対照的なスペインとドイツの文化
3. イタリア、オーストリア、そしてフランス
4. 英国と北欧を巡る旅

#### 第4章 中近東編

1. カタールと周辺国をトンボの目と虫の目で観察
2. アルジェリアを駐在経験者が語る

#### 第5章 総括 モノを見る目

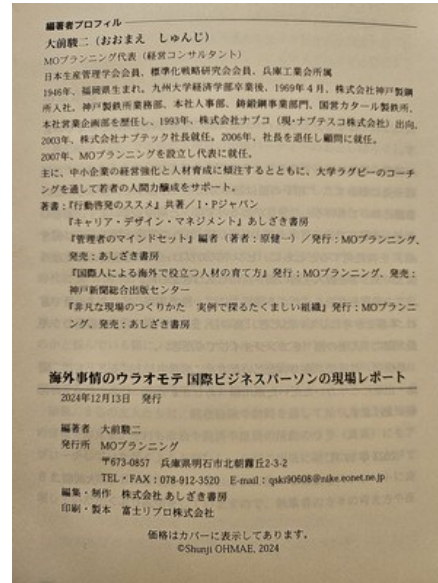
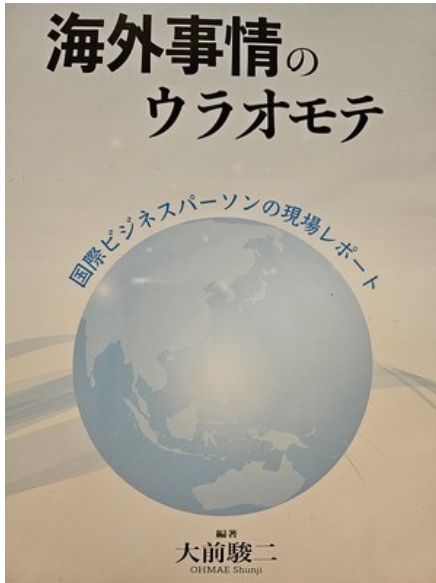
1. 国際人に欠かせない歴史観
2. 関連記事を『管理者のマインドセット』から転載

取り纏めできたのではないかと、との安堵感。

又、観光立国のオランダを、筆者が拠点にしたロッテルダムでのビジネスを回顧し、30数年前に行ったビジネス成功への条件設定が現代のビジネスに通用することや、当時すでに多民族マネジメント“多様性を最大限に活かした人材育成、及びビジネスとファミリーと所属企業を愛するマインドセット経営”のご紹介も極めて有用ではないかと思慮しています。

あくまでも、本紙での情報は執筆者 9 名の勝手、且つ自由奔放な意見ですので、皆様におかれましては、ここでご自分のお考え方を再整理して頂ければ幸いです。

それでは、是非とも、一度お目通し下さるよう、お願い申し上げます。



大前 駿二、2025 年 1 月 元旦

※当書籍は ISBN を取得していません。入手には、大前先生(qsk190608@nike.eonet.ne.jp)もしくは出版元のあしざき書房にご連絡ください。

## 【6】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内

<1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会 2024 年度第 7 回会合(通算第 33 回)(ビジネスモデル分科会)の開催について

=====

■日時:2025 年 1 月 25 日(土曜日) 14 時~15 時 45 分

■講演タイトル:「持続可能な再生医療」

■講師:高橋政代先生(株式会社ビジョンケア 代表取締役社長)

■開催方法:ハイブリッドで開催(対面+ZOOM)(\*高橋先生は関西から ZOOM でおはいりになります。東京に会場を設けますので希望者は東京の会場からご参加ください)

■対面開催場所:東京国際工科専門職大学(最寄り駅:JR 新宿駅)

■講演内容:

2014 年の世界初の iPS 細胞の臨床応用から 10 年、我々は網膜細胞移植を標準治療にするために開発を続けてきた。それぞれ 15 年を超える京都大学病院での眼科臨床経験と理化学研究所でのラボ運営を経て、再生医療という新規モダリティの治療を確実に成功させるために自身で会社を運営し実用化する必要があると判断し、2019 年から経営者となった。

現在市場を拡大している抗体医薬というモダリティが出てきた際には日本は躊躇して出遅れたと言われているが、細胞治療という新たなモダリティ変化では iPS 細胞が発明されたこともあり、再生医療開発の法整備も含め世界でもよい位置につけている。

一方で、いまや世界では創業はアカデミア発のスタートアップが担っているのに比べ、日本はシーズの良さに比べスタートアップのエコシステムが未だ成熟していない。アカデミアからスタートアップ、治療実装と

いうサイエンスサイクルをまわすこと、バイオとAIロボットの融合、高額となる再生医療を標準治療としていくための神戸アイセンター構想、保険を含めた医療システムに必要なことなどをお話します。

■講師略歴:高橋政代先生

京都大学医学部卒業。京都大学大学院医学研究科博士課程(視覚病態学)修了、同附属病院眼科助手を経て1995年米ソーク研究所研究員。2001年京都大学医学部附属病院探索医療センター開発部助教授。2006年理化学研究所へ入所し、網膜再生医療研究開発プロジェクトのリーダーとして2014年世界初のiPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植を実施する。2017年には神戸市の協力のもと神戸アイセンターを設立。2019年理化学研究所を退所、株式会社ビジョンケア代表取締役社長に就任(現職)。2022年より神戸市立神戸アイセンター病院研究センター顧問(現職)。専門は網膜変性疾患・黄斑部疾患と再生医療研究。

■参加方法:以下のURLから出席可否の登録をお願いします。

ご登録締め切りは2025年1月22日17時です。<https://forms.gle/qwF2FjdD6KPS8eq5>

オンライン参加のご登録者には後ほどZOOM招待状を送付させていただきます。

対面参加のご登録者には後ほど会場の詳細情報をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 [dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp](mailto:dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp)

上條浩一・東京国際工科専門職大学教授 [kkamijoh@gmail.com](mailto:kkamijoh@gmail.com)

## 【7】その他お知らせ・ご連絡

・支部メンバーコラムへの投稿を募集します!

メルマガに記載のコラム記事をお寄せください。

内容は各自が普段お考えになっていることをつれづれなるままにお書きいただければと思います。

ご本人の署名記事となりますので、ご自身の思いをメンバーや一般のHP閲覧者に知っていただくよい機会になると思います。

基本的に不適切な場合を除き、内容については寄稿されたものをそのまま掲載いたします。

奮ってご寄稿ください。

・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作りに上げていきます。

以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。

なお、**次回発行は2025年3/中旬**を予定しています。

**2025年2/末**を目途に連絡をいただけると幸いです。

◎**署名記事を募集**します。ぜひ日頃皆さまがお考えのことをご披露いただき、議論の場にしていければと思っております。

◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。

生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

また、Facebookの**フォロー/いいね!**もぜひお願いいたします。

Facebook 一般社団法人日本生産管理学会関西支部 のページ

<https://www.facebook.com/jspmkansaihibu/>

★内容に関するご意見・ご質問も大歓迎です。

本日の内容は以上です。

---

発行:日本生産管理学会関西支部

連絡先:葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

---

\*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメーリングリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。

アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。